

鳴海周平の 金、ぶらり旅



「ハチの子」の取材に来たの? そんなら「ハチ料理」食べなきやダメだきや。親切にそう教えてくれた観光案内のおばさんくを紹介してもらいました。

長野県飯田市。飯田駅前の通りにそのお店はありました。

「いらっしゃい。待つてたよ。」さくに話し掛けて

きてくれた店主の石田さん。顔の色艶がとっても良くな、元気いっぱいの表情に、「さすが、ハチを食べている人は違うな。」と思いました。

「何、北海道から来たんだつて? 遠いのにまあ、よく

きてくれたねえ。うちは珍しいもんがいっぱいあるからね。スズメバチのから揚げとざざ虫の佃煮なんかど

うだね。」「ざざ虫ってなんだろう。」好奇心と一抹の不安がよぎる中、お通しの佃煮が運ばれてきました。「これって何の佃煮ですか?」ちょっと不安な私たちの質問に「ああそれね、蚕がと、蚕のさなぎ、地蜂の子の佃煮ですよ。美味しいよお。」につっこり笑つて答えてくれた女将さんの表情に負けて、食べてみることに。

「あ、意外といけるじゃない。これが感想でした。見た目やイメージから想像してたのはずいぶん違う淡泊な味。お酒にとても合います。

「結構美味しいですね。」

「そうでしょう。見た目で決めたらダメだきや。」

カウンターに座つていた常連さんともすっかり意氣投合。

鹿の刺身、タラの芽の天ぷらなど、旬の素材を贅沢に使つた豪快な料理。次々と運ばれてくる貴重な食材に、驚きながら楽しみながら、夜は更けていったのでした。

「いやあ、ごちそうさまでした。本当に美味しくいただきました。」

「また寄つてねえ。待つてるかた。」

◆取材協力◆

田舎料理

せんかく

〒395-0086
長野県飯田市東和町1-3
TEL.0265-22-4429

一番左が私、鳴海周平です▶



どんなに美味しい料理でも、お店の人の人柄が良くなければダメなもの。料理はもちろんのこと、人柄にも大満足の信州の旅でした。